

## 1 基本情報

- (1) 国名：モルディブ共和国（以下、モルディブ）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：モルディブ全土
- (3) 案件名：経済社会開発計画（Economic and Social Development Programme）
- (4) 計画の要約：本計画は、モルディブ政府に対し、我が国で製造された防災機材（消防艇、運貨艇等）を供与することにより、防災能力の向上を図り、もって社会の安定化を通じたモルディブの経済社会開発に寄与するもの。

## 2 計画の背景と必要性

### (1) 本計画を実施する外交的意義

モルディブは、我が国のインド洋シーレーンの要衝に位置し、地政学的な重要性を有する。また、2018 年 1 月には河野外相がモルディブを訪問、同年 6 月及び新政権発足後間もない 12 月の 2 度に渡りモルディブ外相が訪日して外相会談を行い、両外相の間で、「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向けて協力していく旨合意した。本計画はこの方針の下に実施するものであり、本計画を通じて両国の更なる関係強化が期待されるなど、外交的意義が高い。さらに、我が国は、対モルディブ国別援助方針の重点分野に「環境・気候変動対策・防災」を掲げており、本計画は同援助方針に合致する。

### (2) 住民島及びリゾート島での火災対応の現状及び本計画の位置付け

モルディブは大小 1,190 の環礁島から構成される小島嶼開発途上国(SIDS)である。118 の住民島とおよそ 150 のリゾート島が南北 823km に点在するため、自然災害や火災時の対応が非常に困難な国である。本計画の実施機関である国家災害管理庁は、国全体を北、マレ、中央、南の 4 つのエリアに分け、それぞれのエリアに設置された計 9 つの地域消防署（人口が集中する首都マレ島とフルマレ島には別途消防署が所在）が周辺島の火災に対応しているが、消防署所在島から火災が発生した島への出動に必要な消防艇と運貨艇（消防車や救急車を運搬する船）が不足しているため、消火活動に時間を要し、住民島やリゾート島で火災が起こった際に迅速に対応することができていない。リゾート島については、小規模火災は基本的に各リゾートが対応することになっているが、宿泊施設として一般的なウォータービラは木造建築であることから火の回りが速く、消防隊の出動を要することも少なくない。観光業に大きく依存しているモルディブにとってリゾート火災による損失は経済的にも大きな影響を及ぼすことになるため、モルディブ各地での火災に対応可能な体制を整えることが急務の課題となっている。

これまで消防署所在島以外の島で火災が発生した際は、消火に必要な機材を船に積み込んで出動していたが、消防艇を供与することにより、機材積み込みにかかる時間

が削減され、迅速な消火活動が可能となる。また、運貨艇を供与することにより、各消防署に常駐する消防車を出動させることができるようになり、消防艇だけでは行き届かない内陸部の火災対応が可能になる。

### 3 計画概要

#### (1) 計画概要

##### ① 計画内容

本計画は、モルディブ政府に対し、我が国で製造された防災機材（消防艇、運貨艇等）を供与することにより、住民島及びリゾート島で火災が発生した際の対応能力強化を図るもの。

##### ② 期待される開発効果

防災機材（消防艇、運貨艇等）を供与することにより、住民島及びリゾート島で火災が発生した際の対応能力強化が期待される。

##### ③ 計画実施機関

国家災害管理庁

#### (2) その他特記事項

モルディブの所得水準は相対的に高いことから、「所得水準が相対的に高い国に対する無償資金協力の効果的な活用について」に基づき、無償資金協力の供与の可否について精査が必要である。モルディブは大小1,190の環礁島から構成される小島嶼開発途上国（SIDS）であり、気候変動による海面上昇等、自然災害に対する脆弱性を有している（環境的脆弱性）。また、モルディブは、外貨に依存する観光業が主な産業となっており、経済構造が脆弱である（経済的脆弱性）。さらに、インド洋シーレーンの要衝に位置しており、我が国支援を通じた同国の持続的発展と安定は、海上輸送路の安定にも貢献するとの観点から我が国にとり重要である（外交的観点）。

以 上

# 【地図】計9つの地方消防署の所在地

